



医療法人幸生会

琵琶湖中央リハビリテーション病院

Biwako Central Rehabilitation Hospital

- 日本医療機能評価機構・リハビリテーション(回復期)高度・専門機能認定病院
- 日本リハビリテーション医学会認定研修施設

地域とともにつなぎあい  
患者とともに歩む医療

# 病院だより

第155号  
2023/12/15

## 2023年を振り返って

2023年は当院にとって、昨年にも増して激動の一年でした。

コロナウイルス感染症の第8波で年が明けました。これがピークを越えて間もない2月に、日本医療機能評価機構による病院機能評価（リハビリテーション病院）の認定更新、及びさらに高度かつ専門的な「高度・専門リハビリテーション（回復期）」を受審しました。結果は、見事合格ということで6月に合格通知をいただきました。このことは当院が回復期リハビリテーションに特化した病院として、質の高い安心・安全な医療を提供していることが、第三者機関から評価されていることを示すもので、とても喜ばしい結果でした。

コロナウイルスは5月には感染症法では5類に分類されることとなり、この動きと共に巷では人の動きも次第に復旧し、観光地や繁華街は人の波となり、インバウンド需要も次第に高まってきました。しかしながら、どの病院も各種リスクファクターを持つ高齢の患者さんを抱え、戦々恐々としていた訳ですが、案の定、7月には第9波とも考えられるコロナウイルス感染症の波に飲まれることになりました。当院も例に漏れず、クラスターに悩まされることになり、患者さん及びそのご家族の皆さんには大きなご迷惑をおかけすることになってしまった事ととても心苦しく思っております。

11月には電子カルテの更新があり、これまでの電子カルテシステムの不都合を解消して、さらに効率よく業務を行える環境を構築しえたと考えており、将来に向けて、ますます良質な医療を展開することが可能になったものと自負しております。

このように2023年は当院の光と影を経験した貴重な年であったと思います。私たち職員はこの経験をバネにして、来る2024年を間違いなく実り多いものに転嫁すべく努力しなければならないと考えております。

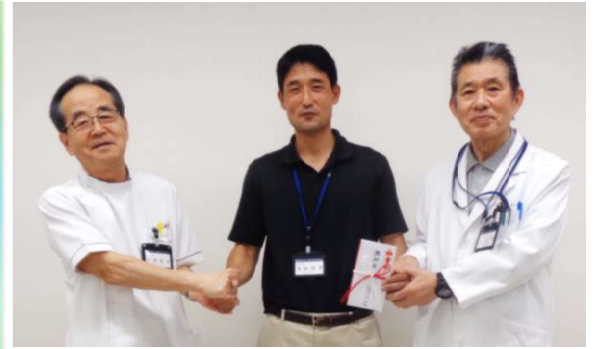
病院長 大野 辰治



Photo by 川戸 菜緒

## 奥田選手壮行会

いつも、応援ありがとうございます。  
1年前の栃木国体では直前に腰を痛めてしまい、まともに漕ぐことができずにとてもしばしい思いをしました。鹿児島国体で優勝できるようにこれまで頑張ってきましたが、残念ながら腰痛が悪化してしまいました。リハビリを受け、大会に出場できるまでには回復しましたが、自分が今できることを精一杯やり、少しでも上位に入れるよう頑張ります。



## 鹿児島国体 結果報告

鹿児島県湧水町 川内川轟の瀬  
特設カヌー競技場でおこなわれ

た特別国民体育大会に出場してきました。ワイルドウォーター競技の「1500m」と「スプリント」の2種目に出場し、結果は両種目とも4位でした。今大会に出場するにあたって、腰痛や練習不足など、さまざまな不安がある中でレースでした。ベストな状態で挑むことができれば、と考えてしまっていますが、できることはやりきったので今回の結果はしっかりと受け止め、目標としている地元開催の滋賀国スポに繋がりたいと思います。  
応援ありがとうございました。

事務 奥田 翔悟

## ホスピタルコンサート開催

11月24日 ヴァイオリン奏者の宮田晴奈さん、ピアノ奏者の市川未来さんをお招きして、ホスピタルコンサートを開催しました。

窓の外に見える、赤く輝く木々、冬の気配を見せつつある琵琶湖の湖面、そこに、お二人が奏でるヴァイオリンとピアノの音色で素敵な世界を創り上げてくださいました。

また後半では、お二人の調べに患者さんの歌声が重なり、どこかアットホームな、心温まるコンサートとなりました。

コンサートが終わって、いつもとちがう朗らかな表情を浮かべる患者さんや、何度も本当に良かった!!と感動しておられた患者さん、涙ぐむ患者さんなど、お二人の演奏が参加した患者さんの心に響き渡り、最高のひとときとなりました。

今回のコンサートが、患者さんのこれからの励みになることを願っています。

☆心に沁みる演奏を本当にありがとうございました☆

リハビリ療法部 真継大輔



出前講座

お茶の間教室「はつらつサロン」

◎シャルマンコーポぜぜ いきいきサロンの皆さんと◎



夏の名残が抜けきらない、今年の秋はいつもより薄手の服装でも、琵琶湖に吹く風を気持ちよく感じることができました。そんな10月26日、大きな窓から見える、湖面に光るさざ波と並木の隙間から差し込む柔らかい陽気の中、シャルマンコーポぜぜ いきいきサロンの皆さんと、「はつらつサロン」を開催いたしました。

今回は、来たる冬に向けて寒さで力が入って凝りがちな「膝」「肩」「腰」の体操、こむら返りの対処体操など、自作のリーフレットを参考に案内しました。

また、サロンで普段行われているDVD体操の解説を行い、いつもの体操がより皆さんの柔軟な身体作りに役立つようアドバイスしました。

最後に、認知症予防体操を小グループに分かれて、輪になって行いましたが、頭と身体を同時に使うことで混乱して、笑い声が絶えないひと時となりました。

シャルマンコーポ いきいきサロンの皆さんとは、今までに複数回の講座をご一緒させていただいております。医療福祉講座でも社会福祉士が月に2回、出向させていただいております。皆さんの朗らかなお人柄に、いつも心地よい空気の中で講座を行わせていただいていることに感謝いたします。

作業療法士 上田 健  
社会福祉士 上嶋 美由紀



豆腐とジンジャーの  
パウンドケーキ



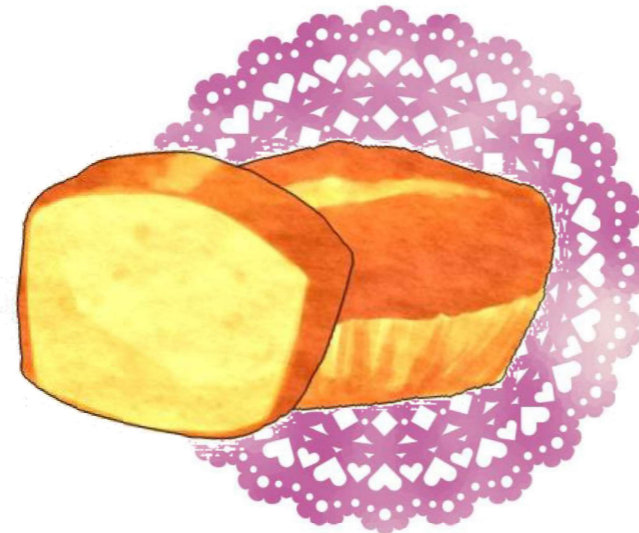
管理栄養士 谷 知衣

〈材料〉(パウンドケーキの型1本分)

- 絹豆腐…………… 150g
- 卵…………… 1個
- バター…………… 20g
- 砂糖…………… 30g
- おろし生姜……… 10g
- ホットケーキミックス…150g

[ジンジャーシュガー]

- ★おろし生姜……… 5g
- ★バター…………… 10g
- ★砂糖…………… 15g
- ・生クリーム……… 10g



《1人分(1/8切れ)144kcal》



〈下準備〉

- ・パウンド型にクッキングシートを敷く
- ・オーブンを170℃に温める

〈作り方〉

1. ボールにバター、砂糖を入れ混ぜ合わせ卵を加えてよく混ぜる
2. 豆腐と生姜を加え、なめらかになるまで、よく混ぜる
3. ホットケーキミックスを加え、粉っぽさがなくなるまでさっくり混ぜる
4. パウンド型に生地を流し入れ、170℃で40～50分焼く
5. ★を合わせ、ジンジャーシュガーを作る
6. 4の焼き始めから15分で一旦取り出し、生地中央に端から端までジンジャーシュガーをのせ、再度オーブンへ入れ、焼きあがったら完成。  
※温度や焼き時間は、ご家庭のオーブんに合わせて調整してください

\*\*\*\*\*【生姜の効果】\*\*\*\*\*

生姜に含まれている3大成分のジンゲロン・ジンゲロール・ショウガオールには、血行促進作用があり、**身体を温めて冷え性改善のサポート**をしてくれる効果があります。また、生の生姜を加熱することで、更にその効果が高まると言われています。

ジンゲロンには、身体を温める事で腸の蠕動運動を活性化させる働きがあり、**便秘改善**にも効果が期待できます。

そして、ジンゲロールは抗菌作用があることに加え、免疫力を高める働きがあるので**風邪予防**にも効果があると言われています。

料理はもちろん紅茶・ココアなどの飲み物にも取り入れやすい食材ですので、おすすめです。



【病院理念】

慈(めぐみ)の源“マザーレイク”のように、私たちは地域の皆さまの心と体のよりどころとなるよう努めます。

【基本方針】

1. すべての職種が協働し、生活を支えるリハビリテーションの実践に最善をつくします。
2. 患者の意思を尊重し、科学的根拠と倫理観に基づき、安全と安心の医療を提供します。
3. 医療・介護・福祉連携を推進し、地域包括ケアシステムの推進に貢献します。
4. すべての職種のたゆまぬ研鑽により、質の高いチーム医療をめざします。
5. 人材の育成に努めるとともに、職員が働きがいと充実感の持てる職場づくりをめざします。

第57回日本作業療法学会  
発表(11/10~12

沖縄コンベンションセンター)

『痙縮を有する脳卒中患者に対して、修正CI療法と共に圧力波治療を実施し、復職に至った一例  
～外来作業療法での実践～』

作業療法士 山本 紘平

『当院での調理動作訓練における介入視点の調査』(ポスター発表)

作業療法士 竹内 章子